



命を守るために



～自分の命は自分で守る～



あんぜん たの あそ

安全に楽しく遊ぶため

今年度が始まって、3か月が経ちました。日が長くなり、放課後に子どもの遊ぶ姿がたくさん見られます。安全に楽しく遊ぶために「きまり」「マナー」があります。学校とともに、ご家庭でも確認していただき、指導をお願いします。

★地域の方からの注意・心配
の**声**が学校に届いています。
日ごろお世話になり、共に生きる人たちと、気持ちよくすごすことが大切です。

① 自転車の乗り方に注意！

転倒したり、人やもの、車とぶつかったりしたら、自分の命が危険です。

「曲がり角や交差点では必ず止まり、左右の安全を確認する」

「車道をななめ横断しない」「横に並んで広がって走らない」

「二人乗りをしない」「スピードを出し過ぎない（レース禁止）」



② 遊ぶ場所に注意！

「道路では遊ばない」「アパートやマンションの駐車場では遊ばない」

「遊びの移動に、キックボードを利用しない」

（使えるのは、公園の中だけ）※キックボードの路上使用は、道路交通法違反です。



③ 公園の使い方に注意！ 公園は、柏小児童のものだけではありません。

「水飲み場での水遊びはしない」「遊ぶ時にお店のトイレをかりない」

「小さい子がいるところでの、ボールの使い方を考える」

「公園での飲食・ポイ捨てはしない」（水分補給のみOK：水・お茶・スポーツドリンク）



しっかりまもろう！！帰宅時刻 不審者にも要注意！！

現在の帰宅時刻は「午後6時」です。帰宅時刻は、家に着いている時刻です。

「午後6時までは、自分の家に帰る」ということを改めて確認しましょう。

本校のメール配信でも注意喚起していますが、不審者による声かけ事例があります。

放課後遊びや習い事など、十分気をつけるように家庭でも確認ください。

帽子・ジャージの上やパーカー・ハンカチへの記名をお願いします。落とし物が増えています。

ねっちゅうしょうよぼう 熱中症予防

暑い日が増えてきました。今年度も環境省の暑さ指数(WBGT)を目安に、暑さ対策をしながら、学校生活を送ります。



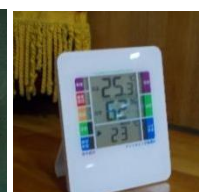
◇今年度から、各教室にエアコンが設置されました。特別教室では、移動式のスポットクーラーを活用して、学習環境を整えます。

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31～35℃	28～31	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28～31℃	25～28	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

休み時間の外遊びは、暑さ指数(WBGT)で、厳重警戒・警戒の時は、**帽子(なければ体育帽子)**を着用するようにします。命を守るためです。
※登下校時の熱中症も防ぐために、帽子の着用を推奨しています。



◇職員室前と体育館ステージ・理科室・中学年活動室、各学級で暑さ指数(WBGT)がわかるようになっています。水分補給の声かけや運動の制限の目安にします。



～ご家庭からの熱中症対策～

☆暑さ指数が【警戒】になりましたら、半そでになるように声をかけます。
着脱可能な上着もしくは、涼しい服装で登校させてください。

命を守るためです。
ご協力よろしくお願いいたします。

☆学校に持ってきてよい熱中症対策グッズ

○ タオルや首にかけるタイプで、
手に持たないもの

× うちわ ・ ミニ扇風機